



未来に翔たけ ヤングファーマー

千葉県は優良な耕地と気候に恵まれ、農業粗生産額全国第2位の農業県です。

しかしながら、農業を取り巻く状況は周知のとおり厳しいもので、農業生産の礎となる農業後継者は相変わらず不足しています。(県内の最近5年間の新規就農者数は毎年150人前後)農業に興味を持つ若者が安心して経営に参加できるように、普及センターでは各種のバックアップ事業を行っています。

親が自信を持って

息子に農業継承を 宣言できるように

○認定就農者制度

後継者が既存の経営では将来性に難があり、規模拡大・経営転換を図りたい、技術を身につけるため研修をしたい等の希望を持ちながらも、資金的に不安がある場合、研修学資や事業開始資金を無利子で融資する制度です。

○制度資金

後継者が部門経営(経営主から独立した部門事業)を開始するための、資金を無利子あるいは低利で融資する事業です。

部門経営の開始は、農家経営のノウハウを凝縮したもので、農業の「やりがい」を後継者に体験させる最も有効な事業です。

○経営体育成セミナー

農業青少年が最も不安になる要素として、「近所に仲間がいないう」ということが言われている

す。このセミナーでは、就農した年次別に3段階(3年間)のカリキュラムにより、いわゆる「同志」の育成に力をいれています。カリキュラムの内容は、優良農家の視察研修・パソコン利用・レクリエーションなど多彩な方面に展開され、数多くの農業青年を輩出しています。



今年実施した長野県でのスキー研修

農業は、いま最も

トレンドイヤーな

ベンチャービジネス

農業経営は、経営者の裁量により運営される独立事業です。つまり自分の努力の跡がはっきりわかる創造性豊かな職種であるわけです。自分の能力を試してみたい人は、ためらわず普及センターにご相談ください。

企画経営科 佐瀬 善浩

※問い合わせは、普及センター松尾 駐在(☎86-412112)へ。

文芸

俳句

雛飾り老人園のわらべ歌

藤代 ゆう

瞬けばくずる、如き寒牡丹

鈴木 草庵

春愁や老眼に讀む文庫本

土屋 栗水

春暁の味噌汁匂ふ窓開く

若梅あやめ

春暁や燈の消え残る舟溜り

渡部 和秋

春暁や老ひには惜しき夢を見て

斉藤 正吾

味噌の香の枕辺に来て春夜明

岡田 江涯

蜂の巣も土産子みやげ年始め

今関 茂生

靴先の冷たきホーム春浅し

福田 幸子

薄氷割れて息吹くや池の鯉

小林 順子

公園の椅子の堅さや浅き春

福田 晴一

薄氷を踏み荒行の僧戻る

玉虫たけし

落款は獅子の彫刻君子蘭

戸村 静華

流れゆく雲が子を生み春近し

選者 山口 一秋

短歌

小さき家五棟建ちぬお隣の島の

(鈴木康文先生) 選者 斎藤つね子

整地たちまち終へて

石井 ユク

真二つに切りしキャベツの断面は

迷路にも似て深く入りくむ

佐瀬 初音

公園のマテバシイの葉シヤワシヤ

ワと葉擦れの樂を奏でつづけり

西山満里子

ま白なる花かたばみの花咲きぬ球

根くれたる人亡き後に

池田 春江

椎森の葉群れ一方に反しつづ春一

番は吹き渡りゆく

萩原 信一

康文先生とりあげられし吾が歌の

一つが宝となりて残れり

秋葉 悦子

百歳を越えたる後も尚歌を詠みつ

ぎし師の突如逝きます

齊藤 要

絵画展見しあと友と思春期の子を

持つ悩み言ひつづ帰る

中越美代子

春疾風桜の枝を走りつつ芽吹き

季を伝へゆくなり

押尾 輝子

きぞはまし今日は在さぬ不思議

を包みて冬の青空ひかる

渋谷 静子

謡曲にはげみし頃訪ひし竹生島妻

世にありて共にゆきしが

土屋 栗水

百以後に歌詠む時のなほ十月あり

てよき歌残し給ひき

(鈴木康文先生)